

9期 知らなかった あんな話 こんな話 科

～そして生きがい再発見～

日時： 令和3年11月 4日

場所： 豊中市地域共生センター

学習テーマ：外国人から見た日本 (第11回講座)

講師： クーゼキ・マーチャーシュさん (ハンガリー)

内容：

① 自己紹介

ハンガリー国ペーチ生まれの37歳（奥さんと子供2人）2009年11月～日本在住

職業：ドツ語講師、趣味：カードマジック（会場で公開）

② ハンガリーの紹介

1000年前に王国となり昔は大国だったが第一次世界大戦で負けた結果国土面積は三分の一に減り、さらに第二次世界大戦でも負けたので、1989年までロシアの占領地であった。人口は約1000万人で蒙古系。国語はハンガリー語で文字は45個、日本語に似ている。名物はワイン、ハチミツ、温泉、ルービックキューブ、豚肉。クラシック音楽が良く聞かれている。

フォークダンスが非常に盛ん（クーゼキさんが実際に踊って見せてくれた。上手い）料理は肉料理が多い（特に豚肉料理）パプリカやジャガイモを多く使った食べ物に赤色が多い、魚料理は海がない国なので少ない。バームクーヘン（甘い）。

③ 外国人として日本に住んでの経験

初めは人の優しさのお陰で暮らしやすかったが仕事を見つけるのが難しかった。

ドイツ語講師として永住権があっても常勤の仕事が殆んどない（立命館大学は別）

今まで12年間ずっと非常勤講師として生活している。

日本は清潔で綺麗、治安が良い（ハンガリーはすぐに物を盗られる）、人の優しさ、自然が多い、アーキテクチャ、文化を大事にする、ポジティブな考え方、人を信じる、和食、トイレは無料等

④ 外国人の苦勞について

日本語（特に漢字で音読みと訓読みがある） ます、です、で言う

仕事を見つけにくい（常勤が無く5年で転職しないとイケない）、交通ルール

人の事を聞くこと（相手の事をどう思うだろう）

ビューロクラシー（人のつながり、こね）、外国人は危ない

ピアプレッシャー（なんでもグループで動く）、決めつけること

話をしてから決める、みなと付き合ってから決める等々

⑤ 結論

住みやすい国である。



外国人から見た日本講座



フォークダンスを踊るクーゼキ講師

午後からの講座

- ① 頭と体を柔らかくする体操
- ② 午前の講座を振り返り各班でディスカッション後発表
- ③ 豊中市内で活動するグループとの交流

特定非営利活動法人 国際交流の会とよなか「T I F A」活動案内
活動内容

A. 在住外国人支援

在住外国人や留学生が、地域で安心して暮らすことが出来るように、隣人として日常的にサポートしている。(ワンストップ・カフェ多文化こどもカフェ、日本語クラス外国人相談窓口、バザー、多文化子育てサロン)

B. 国際交流

T I F Aの活動の原点である身近な国際交流を、楽しみながら続けています。海外からの文化交流の受け入れなども行っています。(ホストファミリー、海外の人たちとの交流、外国語講座、世界の料理教室)

C. 国際理解

世界の様々な文化に対する理解を深め、グローバルな視野を育てる為の活動です。(T I F A国際子どもキャンプ、T I F Aセミナー、国際理解講座、グローバルサロン)

D. 国際協力

国境を超えた草の根の交流をベースとした国際協力や支援活動を行っています。(ネパールでの支援活動、女性の自立支援の取り組み、ウズベキスタンプログラム)

E. 世界と出会う空間 カフェ・サパナ

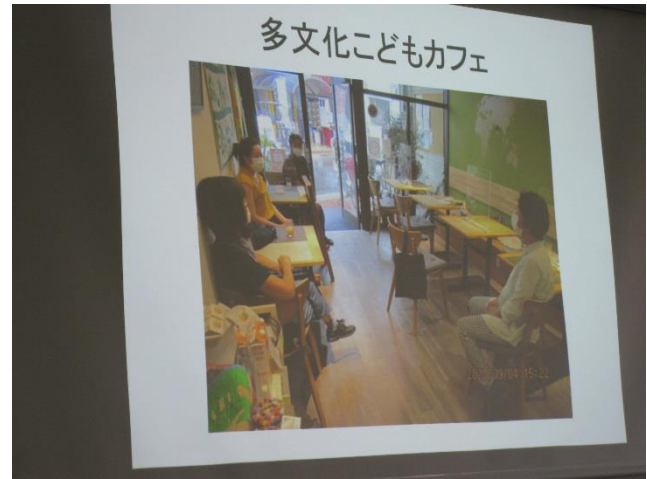
(サパナランチ、サパナ弁当、サパナマーケット)

出会い・ふれあい・支えあう身近な国際交流・国際協力をご一緒に

「国際交流の会とよなかT I F A」筒井さん、福井さんが説明



T I F A 活動テーマ



活動状況（多文化こどもカフェ）